オゾンハンドブック

改訂第 2 版発刊のお知らせ

改訂第 2 版発刊の趣旨

日本オゾン協会では、オゾン処理技術があらゆる生活の場において、安心と安全を提供できる主要な技術であり、かつ現実に実用可能な技術であることを社会に広く理解していただくために、平成 16 年(2004 年)に「オゾンハンドブック」を発刊いたしました。

オゾンに関し、物性や反応などの基礎情報から、応用分野ごとの詳細な適用方法・設計手法などについて網羅した初めての書籍であり、オゾンの基礎研究、上下水道分野や様々な産業分野においてオゾンに携わる方々にこのオゾンハンドブックが活用されてきました。

発刊後、およそ 10 年を経た平成 28 年(2016 年)には、技術の進歩や基準・規格の変化により、オゾンハンドブックの内容を改訂し、「オゾンハンドブック改訂版」を発刊致しました。

さらに改訂版の発刊から 5 年を経て、新型コロナウイルス感染拡大や昨今のオゾン利用拡大を加味、これらの活用事例に基づいた最新情報を追加し、この度、新たに改訂第 2 版として、第 23、24 章を増補、発刊することにしました。

特　徴

従来の改訂版の特徴に加え、改訂第 2 版では以下の新たな情報が掲載されています。

◆ 気相におけるオゾンの消毒効果

新たに気相における消毒効果として、新型コロナウイルスを始めとするウイルスへの消毒効果及び細菌に対する消毒効果について記載

◆ 最近の新たなオゾン応用

病院の寝具類や内視鏡、救急車内部の消毒などの医療分野や、飲食・商業施設、介護施設や学校などでオゾン水を用いた除菌・消臭用途について紹介

構　成

歴史と展望編

第１章　わが国におけるオゾン利用の歴史と展望
第２章　北米におけるオゾン水処理技術の現状と展望
第３章　ヨーロッパ、中国におけるオゾン水処理技術の現状と展望

基礎編

第４章　オゾンの性質
第５章　オゾンの反応特性
第６章　動物・人体に対する影響と安全基準
第７章　オゾン測定法
第８章　オゾン発生方法
第９章　反応槽特性

応用編

第 10 章　オゾン発生装置
第 11 章　反応装置
第 12 章　排オゾン処理装置
第 13 章　オゾン処理システムの計測と制御
第 14 章　オゾン利用各論　水処理への利用
第 15 章　オゾン利用各論　気体としての利用
第 16 章　オゾン利用各論　生産プロセスでの利用
第 17 章　オゾン利用各論　促進酸化での利用
第 18 章　オゾン利用各論　新しい用途
第 19 章　オゾン利用各論　その他の利用法
第 20 章　オゾンに関する取扱い安全基準
第 21 章　オゾン処理設備の基本設計指針
第 22 章　オゾン耐食材料
第 23 章　気相におけるオゾンの消毒効果について
第 24 章　最近のオゾン応用について

※太字の第 23 章、第 24 章は改訂第 2 版に新たに追加

体　　裁　　B５版　約 430 ページ

価　　格　　￥１５，０００　（学生、教育機関　￥１０，０００）

発　刊　日　　２０２２年６月２７日

お申込み方法　　購入申込書を協会ウェブサイトからダウンロードし、必要事項をご記入の上、E-Mail、FAX または郵便にて下記宛にお送りください。オゾンハンドブックとともに請求書を同封いたします。
なお、別途送料がかかりますのでご了承ください。

NPO
JAPAN OZONE ASSOCIATION

特定非営利活動法人　日本オゾン協会　事務局
〒103-0006　東京都中央区日本橋富沢町 10 番 10 号－301
TEL：03-6661-1622　　FAX：03-6661-1623
E-Mail：joa@j-ozone.org
URL　：　http://www.j-ozone.org